

平成29年度事業報告書

平成29年1月1日～平成29年12月31日まで

本協会は、平成29年度事業計画に基づき、次の事業を行った。

『公益目的事業 1』

＜プロボウラー及び指導員の認定育成事業＞

1. プロボウラーの資格認定及び登録

男子56回・女子50回プロボウラー資格取得テストを実施した。

受験者数は、男子61名(前年64名)、女子29名(前年28名)であった。

第1次(実技)、第2次(実技)、第3次(筆記・面接・身体検査等)を行い合格者、男子18名(前年11名)、女子11名(前年15名)を正会員として登録を行った。

2. プロボウラーの指導者及び一般の指導者の資格認定・登録事業

インストラクターの資格認定及び登録を行った。

(1)公認インストラクターA級・B級・C級、各合格者の認定と登録を行った。

A級14名、B級11名、C級28名を公認インストラクターとして認定し登録を行った。

(2)認定インストラクター1級及び2級合格者の認定と登録を行った。

1級29名、2級165名を認定インストラクターとして、登録を行った。

3. 講座、セミナー、育成事業

(1)専門講習会を東日本・西日本の2会場で行った。

・Part I (8月): 東日本67名・西日本30名

・Part II (11月): 東日本18名・西日本16名

・プロ・インストラクター資格取得実技テストを、5会場14名の参加で行った。

・認定インストラクター資格取得講習会を、全国9会場190名の参加で行った。

4. ボウリングを通じての医・科学の調査研究

5. ボウリング関係団体が主催する競技会又は講習会の指導・援助

(公社)日本ボウリング場協会が、社会福祉の向上に寄与する活動として障害者の方々も参加する「第51回宮様チャリティーボウリング大会」へプロを派遣し、障害者への指導及び交流を図った。

・開催日 平成29年11月25日(土)・26日(日)

・会場 品川プリンスホテルボウリングセンター

・参加人数 健常者(男女)315名、障害者(男女)115名 合計430名

6. ボウリングに関する刊行物の発行

・メディアガイドブック

・2018プロボウリングカレンダー

7. ボウリング技術及びマナーに関する調査研究、指導及び奨励事業

J P B A全国ジュニアボウリング教室を、文部科学省の後援を頂き(公社)日本ボウリング場協会との共催でボウリングスクールを開催した。

・春休み: センター数及び参加者数 27会場、 625名

・夏休み: センター数及び参加者数 105会場、 5,237名

・冬休み: センター数及び参加者数 24会場、 670名

『公益目的事業 2』

1. 競技会開催による普及及び啓発事業

◎主催及び共催トーナメントの開催及び運営を行った。

- ・ J P B A 創立 5 0 周年記念大会 ※
参加選手=男子 216 名、女子 90 名
- ・ JPBA シーズントライアル 2 0 1 7 (ウインター、スプリング、サマー、オクトーバー各 4 会場) ※
参加人員=男子 1, 124 名
- ・ 「ケリコペンティオン杯」第 5 回プロアマボウリングトーナメント (男女同時開催)
参加人員=男子プロ 72 名/アマ 36 名、女子プロ 54 名/アマ 18 名
- ・ 2 0 1 7 下半期女子トーナメント出場優先順位決定戦
参加人員=172 名
- ・ 第 8 回 H A N D A C U P プロボウリングマスターズ (5 0 歳以上)
参加人員=プロ 117 名/アマ 123 名
- ・ R O U N D 1 C U P 2 0 1 7 (男子)
参加人員=プロ 60 名/アマ 216 名 ※プロ選抜大会合計 884 名
- ・ スカイ A カップ 2 0 1 7 プロボウリングレディーズ新人戦
参加人員=プロ 67 名/アマ 37 名
- ・ 第 1 9 回三湖コリアンカップ (韓国/安養虎溪体育館ボウリング場)
参加人員= J P B A プロ 38 名
- ・ 2 0 1 7 プロボウリング男子新人戦
参加人員=プロ 47 名/アマ 144 名
- ・ 下関オープンロイヤルカップ 2 0 1 7 プロアマボウリングトーナメント (男子)
参加人員=男子プロ 73 名/アマ男子 125 名・女子 41 名
- ・ R O U N D 1 C u p L a d i e s 2 0 1 7
参加人員=プロ 60 名/アマ 116 名 ※プロ選抜大会合計 657 名
- ・ 「H A N D A C U P」第 4 9 回全日本女子プロボウリング選手権大会 ※
参加人員=プロ 72 名
- ・ H A N D A C U P 第 5 1 回全日本プロボウリング選手権大会 ※
参加人員=プロ 96 名

◎公認トーナメントの運営委託を行った。

- ・ スカイ A カップ第 3 8 回関西オープン (男子)
参加人員=プロ 227 名/アマ 36 名
- ・ 2 0 1 7 宮崎プロアマオープントーナメント (女子)
参加人員=プロ 120 名/アマ 30 名
- ・ 中日杯 2 0 1 7 東海オープン (男女同時開催)
参加人員=男子プロ 212 名/アマ 60 名・女子プロ 152 名/アマ 40 名
- ・ 第 3 3 回六甲クイーンズオープントーナメント
参加人員=プロ 76 名/アマ 19 名
- ・ 第 1 2 回 M K チャリティカップ (男女同時開催)
参加人員=男子プロ 169 名/アマ 36 名・女子プロ 72 名/アマ 24 名
- ・ 第 4 0 回ジャパンオープンボウリング選手権 (男女同時開催)
参加人員=男子プロ 282 名/アマ 582 名・女子プロ 164 名/アマ 268 名
- ・ コカコーラカップ 2 0 1 7 千葉オープン (男子)
参加人員=プロ 176 名/アマ 32 名
- ・ 第 4 0 回 J L B C クイーンズオープンプリンスカップ
参加人員=プロ 156 名/アマ 232 名

※印は、プロボウラーのみが参加できる競技会

2. ボウリング競技会の記録、管理及び研究

- (1) トーナメントの公認・承認。
- (2) 競技会規則の制定、調査研究
- (3) 公認トーナメント競技の記録、管理
- (4) 29年度年間優秀者の表彰。

年間優秀者表彰

	<u>男</u>	<u>子</u>	<u>女</u>	<u>子</u>
ポイントランキング第1位	川添	奨太	松永	裕美
アベレージランキング第1位	川添	奨太	松永	裕美
賞金ランキング第1位	川添	奨太	松永	裕美

(公財)日本プロスポーツ大賞受賞者

功労賞 白石 雅俊 日本ボウラーズ連盟理事長

新人賞 久保田 彩花 (48期生)

3. その他本協会の目的を達成するための必要な事業

- (1) (公財)日本ユニセフ協会への協力
- (2) (公財)日本プロスポーツ協会へ理事・評議員を派遣し会の運営に参画した。
- (3) トーナメントプレイヤー講習会を開催した。(1会場・73名参加)
 - ・スポーツにおけるドーピングの防止活動
 - ・暴力団等反社会的勢力に対する対応並びに賭博行為の禁止

『その他の事業』

相互扶助事業

1. 退会慰労金及び功労金
2. 弔慰見舞金

公益社団法人日本プロボウリング協会
平成29年度正味財産増減計算書

(平成29年1月1日から平成29年12月31日迄)

科 目	当年度	前年度	増減
一般正味財産増減の部			
[経常増減の部]			
[経常収益]			
【受取入会金】	1,450,000	1,500,000	△ 50,000
【受取会費】	76,745,000	76,848,000	△ 103,000
【事業収益】	153,182,990	123,349,960	29,833,030
大会運営収益	125,639,620	94,480,000	31,159,620
その他事業収益	27,543,370	28,869,960	△ 1,326,590
【インストラクター収益】	34,427,000	28,114,540	6,312,460
50周年記念事業収益	9,133,900	0	9,133,900
【寄付金収益】	800,000	800,000	0
【雑収益】	332,583	392,019	△ 59,436
経常収益計	276,071,473	231,004,519	45,066,954
[経常費用]			
【事業費】	271,414,528	202,871,440	68,543,088
大会運営費	116,419,640	85,530,019	30,889,621
プロテスト費	5,338,758	5,591,504	△ 252,746
トーナメント委員会費	504,838	598,151	△ 93,313
国際事業費	17,020	0	17,020
開発事業費	987,606	1,509,601	△ 521,995
インストラクター事業費	23,036,234	20,380,867	2,655,367
広報事業費	10,117,035	9,453,136	663,899
50周年記念事業費等	46,554,671	8,366,647	38,188,024
その他	16,742,645	16,752,303	△ 9,658
事業管理費	51,696,081	54,689,212	△ 2,993,131
【管理費】	27,346,830	26,889,859	456,971
経常費用計	298,761,358	229,761,299	69,000,059
税引前当期一般正味財産増減額	△ 22,689,885	1,243,220	△ 23,933,105
一般正味財産期首残高	147,172,819	145,929,599	1,243,220
一般正味財産期末残高	124,482,934	147,172,819	△ 22,689,885
当期一般正味財産増減額	124,482,934	147,172,819	△ 22,689,885